

若者や女性の視点を生かした魅力ある地域づくりを

県議会では、県民の議会活動への参加機会の充実を図ることを目的に、定期的に県民との意見交換を行っています。

令和3年度は4月20日に一関市、4月23日に大船渡市を会場に開催しました。一関市会場では、県南地域の若手の経営者や工芸家の方々と、「若者による伝統産業を通じた地域振興について」をテーマに伝統産業の現状や今後について意見交換を行いました。

また、大船渡会場では「女性の視点を生かした三陸の地域づくりについて」をテーマに、沿岸地域で活躍する女性たちと、賑わいを取り戻す新たな取り組みなどについて意見交換を行いました。



※写真撮影のためマスクを外しています。



※写真撮影のためマスクを外しています。

参加者の感想

村上 怜さん
(一関市会場 / 南部鉄器工房村咲 代表)

焼型という伝統技法で南部鉄器の製作と販売を行っています。業界の課題として職人の高齢化と後継者不足があります。新しい方には来てほしいけれど、個人の工房には職人を雇用する体力がない。また、若い職人が一人前に育つには、これまで以上に手厚い支援が必要なのを知ってもらえてよかったです。

中村 純代さん
(大船渡市会場 / 株式会社キャッセン大船渡エリアマネジメントディレクター)

企業・行政・各種団体と連携し、大船渡地区の街の持続のための取り組みを行っています。人や組織のつながりや地域の賑わいの創出に向けて、沿岸地域で同じように頑張っている女性たちの声が聞けて有意義でした。雇用の場の確保や医療の充実など、より住みやすい地域づくりの後押しとなる取り組みをお願いしたいと思います。

※詳しい内容は県議会ホームページでご覧になれます。

4月臨時会のあらまし

4月臨時会は4月15日に開催されました(会期は1日)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、きめ細かく社会生活・経済活動を支えるために必要となる予算を計上した令和3年度岩手県一般会計補正予算(第1号)など、知事から提出された2件の議案は同日に可決・承認され、委員会が提出した議案は可決されました。

議決の状況

- ◎令和3年度補正予算案【可決】
一般会計 1件
- ◎専決処分【承認】
岩手県県税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- ◎委員会提出議案【可決】
東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書

5月臨時会のあらまし

5月臨時会は5月24日に開催されました(会期は1日)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、切れ目なく社会生活・経済活動を支えるために必要となる予算を計上した令和3年度岩手県一般会計補正予算(第2号)は同日に可決されました。

議決の状況

- ◎令和3年度補正予算案【可決】
一般会計 1件

6月定例会

6月定例会は、6月22日から7月6日まで開催されました。令和3年度岩手県一般会計補正予算(第3号)など、知事から提出された20件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した10件の議案は全て可決されました。

また、請願は3件が採択、2件が不採択、4件が継続審査となりました。



採決の様子

議決の状況

- ◎令和3年度補正予算案【可決】
一般会計 2件
- ◎条例議案【可決】
一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例及びみんなで取り組む防災活動促進条例の一部を改正する条例など13件
- ◎人事議案【同意】
人事委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて
- ◎その他の議案【可決】
みたけの杜新築(建築)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど4件
- ◎委員会提出議案【可決】
意見書10件(詳細は3ページに掲載)
- ◎請願
採択3件 不採択2件 継続審査4件(詳細は2ページに掲載)

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

請願の採択状況

◎採択

- ▶計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願（意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択）
- ▶新型コロナウイルス感染症の影響を受ける酒造事業者への支援を求める請願
- ▶新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願（保健福祉部所管分）

◎不採択

- ▶被災者の医療費・介護保険利用料などの免除措置の継続を求める請願

- ▶東日本大震災被災者の医療費窓口負担の免除を求める請願

◎継続審査

- ▶えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願
- ▶東京電力福島第一原子力発電所におけるA L P S 処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を求める請願
- ▶県立釜石病院に医師確保を求める請願
- ▶新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願（総務部・復興防災部・ふるさと振興部所管分）

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

県政に関する質問から

6月28日から7月1日まで行われた一般質問では、12名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

6/28(月) 一般質問

質問タイトル上のアイコンは、質問の分野を示しています。

総務関係(他の4分野以外のもの) 文化、教育関係 環境、福祉関係 商工、建設関係 農林水産関係

1人目
希望いわて
佐々木 順一 議員
花巻選挙区

2人目
自由民主党
千葉 伝 議員
八幡平選挙区

3人目
希望いわて
名須川 晋 議員
花巻選挙区

農林水産 農作物の凍霜害への対応

問 4月の凍霜害により被災農家の大幅な収入減は避けられず、農作物災害復旧対策事業を発動させ、早急に支援を行うべきではないか。

また、恒久対策の一環としてスプリンクラーの導入を求める被災農家が一定数あり、期待にこたえてほしいが、見解を伺う。

答 県内では、4月中旬から下旬にかけて最低気温が氷点下になったことにより、リンゴの花が枯死するなどの被害に見舞われた。

今回の霜被害による被害額は、複数市町村で1億円以上となっており、現在、農作物災害復旧対策事業の発動に向けて、果実の品質低下を最小限に抑えるための薬剤散布のほか、人工授粉に必要な花粉の確保など、次年度の安定した生産に必要な支援策を検討している。

また、スプリンクラーは、気温が氷点下になることが予想される場合に、夜間から早朝にかけて連続的に散水し、果実となる花を0度程度に維持することで果樹への霜被害を防止するものであるが、一方で、スプリンクラーの活用には多量の水が供給できる水源の確保が必要であることから、希望する生産者に対してはこうした点を確認しながら、国庫補助事業などによる導入を支援していく。



凍霜害により、開花できずに枯れたリンゴの花のつぼみ

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 デジタル化の推進
- 3 東京電力福島第一原子力発電所のA L P S 処理水
- 4 I L Cの実現に向けた取り組み方針

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



総務関係 県政推進の基本的な考え方

問 現在のいわて県民計画は、前の県民計画に復興を織り込んだ上で、基本目標に幸福を掲げたものと捉えているが、知事が抱く「岩手がどうあるべきか」という考えは、どのように変わってきたのか伺う。また、復興から先の地域振興や、ポストコロナのビジョンが求められている現状など、県の急速かつ大きな変化をどう捉え、今後、県政をどのように推進していくのか伺う。

答 前のいわて県民計画では、人口の社会減、県民所得の低迷、深刻さを増す地域医療などの危機を克服するため、「県民一人ひとりが、共に支え合いながらいきいきと働き、安心して暮らし、楽しく学んでいくことができる希望あふれる社会」を目指す姿とし、県民とともに取り組んできた。また、東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針では、被災者一人ひとりの幸福追求権を保障するとともに、犠牲者のふるさとへの思いを継承することを原則として復興を進めてきた。

現在のいわて県民計画では「引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に掲げている。人々の暮らしや仕事を起点とする施策や、県民一人ひとりに寄り添いながら多様な主体の参画やつながりを生かした取り組みを展開していく。



東日本大震災津波伝承館

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 畜産業の振興
- 2 農業の振興
- 3 林業の振興
- 4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



環境福祉 首長のワクチン接種

問 リスク対応の観点から、知事がまず率先してワクチンを接種すべきと考えるが、認識を伺う。

また、然らばその後ろ盾となるものとして、例えば岩手県地域防災計画への記載などが必要ではないかと考えるが、所見を伺う。

答 新型コロナワクチンの接種については、厚生労働大臣の指示のもと市町村が実施することとされており、重症化リスクの大きさなどを踏まえ、医療従事者、高齢者、基礎疾患を有する者、高齢者施設などの従事者、その他一般住民の順に接種するよう示されている。

現在、県では医療従事者への接種が完了し、高齢者への接種が進められているが、それ以外の方への接種については、市町村が地域の特性や感染状況、接種の進捗などを踏まえて進めていると承知している。

知事である私については、危機管理などの観点から、状況により公務を進める上で接種が必要であると判断される場合や、ワクチンの余剰分の廃棄が目の前に差し迫って、ほかに接種を受ける方がいない状況では、接種を受けることもあると考えるが、そうした状況にない場合は、市町村が示した接種計画に沿って接種したいと考えている。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 復興五輪
- 2 文化スポーツ部設置の評価と今後の取り組み
- 3 環境施策
- 4 教育施策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



委員会が提出した議案

今定例会では意見書10件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎意見書

- ▶ 計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- ▶ HPVワクチン接種に関する国民理解の促進を求める意見書
- ▶ 性的指向・性自認に関する差別の解消を求める意見書
- ▶ 「生理的貧困」への対策を求める意見書
- ▶ 学校施設の防災対策の充実を求める意見書

- ▶ 森林所有者の所得向上と国産木材の需要拡大、安定供給に向けた更なる取組を求める意見書
- ▶ 犯罪被害者支援の充実を求める意見書
- ▶ フリースクールや高等専修学校等に対する公的支援の充実を求める意見書
- ▶ 医療的ケア児支援法の理念を実現するための十分な措置を求める意見書
- ▶ 子どもの心のケア対策の一層の充実を求める意見書

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

6/29(火) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。



総務関係 震災後10年を経過しての被災者に対するメッセージ

問 東日本大震災津波からの復興で遅れているのは、被災者の心の拠りどころの形成ではないか。復興の現状を踏まえて、知事はこれまでの取り組みをどのように感じ、被災者に対してどのようなメッセージを語り掛けたいか、考えを伺う。

答 犠牲になった方々の果たせなかった想いを引き継ぎ、県民が未来のために力を合わせて、より良い地域を創造し築いていくことに一丸となって取り組んできた。その結果、被災した施設の復旧、災害公営住宅の整備など、計画された事業の多くは完了し、「いのちを守り海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」という復興の目指す姿を実感できる機会は増えてきた。

一方で、被災者の心のケア、新たなコミュニティの形成支援、なりわいの再生など中長期的な課題もあり、引き続き取り組んでいく必要がある。

これまで国内外の方々に支援していただき、絆や人と人が支え合うことの大切さを実感した。犠牲となった一人ひとりのふるさとへの想いを継承し、引き続き復興の取り組みを進めるとともに、**持続可能な開発目標**の理念のもと、誰一人取り残さないよう、被災者一人ひとりの復興に力を尽くしていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 国土強靱化と道路交通ネットワークの整備
- 2 第一次産業の振興
- 3 地域医療と福祉
- 4 公共交通の確保

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



環境福祉 周産期医療の体制整備

問 県内の分娩取扱医療機関は、平成23年の39施設から令和2年には25施設と大幅に減少している。県はこれまで以上に県立病院を中心に分娩取扱医療機関の体制を強化していく必要があると思うが、現状をどう捉え、今後、どのように安心して出産できる体制を構築し、周産期医療を守っていくのか伺う。

答 全県的に産科の医師が不足している中、産科診療所についても、医師の高齢化や後継者不足などにより分娩取り扱いを断念せざるを得ない施設の増加が懸念され、産科診療体制の確保は重要課題である。

県では、産科などを選択した地域枠養成医師に対し、岩手医科大学の総合周産期母子医療センターでの義務履行を可能とする新たな特例措置を昨年度から開始したほか、医療局奨学金に産科医養成のための特別貸付枠を設けるなど産科医の確保に取り組んでおり、病院に勤務する産科医数は横ばいとなっている。

引き続き周産期母子医療センターとの連携による医療提供体制強化を図るとともに、産科診療所への新たな設備導入支援、周産期の救急搬送体制の強化、市町村と連携したハイリスク妊産婦の通院支援などの取り組みにより、安心して妊娠・出産ができる周産期医療の充実に努める。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策
- 2 教育のあり方
- 3 今後の農業の展望
- 4 県産木材の利用促進 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



文化教育 文化財に係る調査研究や保存活用・管理のための支援策

問 北海道・北東北の縄文遺跡群は、先史文化を現代に伝える貴重な遺産であり、本県の御所野遺跡は特にその価値を伝えている。こうした文化財に係る調査研究や保存活用・管理は重要であり、県は御所野遺跡の調査研究や保存活用などに、どのような支援を講じていくのか。

また、県内の3つの世界遺産を保存していく上で、市町とどのように連携していくのか伺う。

答 これまで、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向け、御所野遺跡の発掘調査などの調査研究、縄文竪穴建物の復元を含む公園整備、御所野縄文博物館の整備などの技術支援や財政支援を行ってきた。

今後も、4道県、関係市町などで構成する縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会と、県が事務局である**岩手県世界遺産保存活用推進協議会**の場において情報共有を図りながら、御所野遺跡の価値を十分に伝えることができるよう、教育活動や普及啓発活動を通じ、保存活用に取り組んでいく。

また、釜石市、平泉町、一戸町とは、住民生活と調和した遺産の保存と活用を進め、すべての人々にとって魅力のある世界遺産となるよう、情報共有しながら取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 県北・沿岸振興
- 2 鳥獣保護管理施策
- 3 農村地域の振興
- 4 新型コロナウイルス感染症対策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。





1人目

いわて新政会

たかはし たじま
高橋 但馬 議員

盛岡選挙区



2人目

自由民主党

たかはし
高橋 こうすけ 議員

盛岡選挙区



3人目

いわて新政会

ささき ともかず
佐々木 朋和 議員

一関選挙区

環境福祉 若年層への新型コロナワクチン優先接種

問 県による集団接種の対象を18歳以上65歳未満の者に拡大することについて評価するが、若年層へのワクチン接種のさらなる促進に向け、県は市町村と連携し、どのように取り組んでいくのか伺う。

答 若年層を含む行動が活発な現役世代の感染の拡大や、飲食店、職場などのクラスターの多様化が見られるところであり、これらに対応するためには、それぞれの地域での特性や感染状況を踏まえながら、適切な対策を講じる必要があると考えている。

こうしたことから、新型コロナワクチンの一般接種については、市町村の判断により、保育施設の従事者を優先するなど、地域の実情に応じた対応が行われている。

県では、市町村の接種体制を補完するため、県の集団接種を実施しているところであり、現役世代を含む今後の接種がさらに加速されるよう、市町村が発行する接種券を持つ18歳以上65歳未満の者も対象とすることとしている。こうした機会を積極的に活用していただけるよう、市町村や関係機関などと連携しながら周知を図っていく。

また、主に現役世代が対象となる**職域接種**についても、補正予算案に盛り込むべく、現在準備している。



コロナワクチン集団接種会場の様子

■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 観光振興
- 2 林業振興
- 3 スポーツ振興
- 4 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



総務関係 消防団員の確保

問 地域における防災体制を維持し、地域住民の安全・安心を確保するため、消防団の果たす役割はますます大きくなっている一方で、県内の消防団員数は減少傾向にある。

「自助、共助、公助の防災体制」を支える消防団員の確保について、どのように認識し、どのように取り組んでいくのか、意気込みをふまえ、考えを伺う。

答 消防団は、地域の消防防災体制において共助、公助を支える、住民にとって最も身近な中核的存在であり、その果たす役割は非常に重要なものである。

このため、県では消防団員の確保に向け、若者や女性の加入や、日中の火災発生時など特定の活動のみに参加する機能別消防団員制度の導入を促進している。

また、昨年度に創設した消防団員確保対策費補助金事業により、装備品の充実や女性消防団員の活躍しやすい環境の整備、活動のスキルアップを図るためのソフト事業などに対して補助するなど、市町村が行う消防団員確保の取り組みを支援している。

県としては、引き続きこのような支援を行いながら、国、市町村および関係機関と連携し、消防団員の確保に向けた対策を推進していく。



消防訓練の様子

■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 デジタル社会への対応
- 2 教育政策
- 3 防災対策
- 4 若者の就業支援 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



環境福祉 医療的ケア児支援法成立の所感と体制整備

問 医療的ケア児支援法が成立し、医療的ケア児の日常生活を社会で支える仕組み作りや、家族の離職防止に向けて適切な対応をとることが国や自治体の責務として明記された。法成立についての所感、各市町村や県庁内の協力体制の整備、理念実現に向けた知事の意気込みを伺う。

答 県ではこれまで、関係機関・団体と連携しながら、医療的ケア児が身近な地域で必要な支援を受けられるよう、サービス提供体制の整備や、医療的ケアを行う人材の育成などに取り組んできた。医療的ケア児支援法の成立を受け、社会全体で医療的ケア児とその家族を支えるための取り組みを一層推進していく必要があると考えている。

この法律の下、居住する地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられる体制整備を進めるためには、市町村や保健、医療、福祉、教育、労働などの様々な分野の関係機関、団体などの連携が重要であると認識している。

県としては、**岩手県重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援推進会議**を中心に多様な主体による連携を強化し、法が目指す「医療的ケア児の健やかな成長が図られ、安心して子どもを産み、育てることができる社会の実現」に向け、全力で取り組んでいく。



医療的ケア児等医療情報共有システム紹介パンフレット

■上記のほかにも、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 第2期岩手県ふるさと振興総合戦略
- 3 県立工業高校のあり方
- 4 国際リニアコライダー計画 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



用語解説

▶**いわて県民計画(2ページ)**…県の政策推進の方向性や具体的な取り組みを示す最上位の総合計画であり、行政だけでなく、県民、企業、NPOなど、あらゆる主体のビジョンとなるもの。

長期的な県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向をまとめた長期ビジョンと、長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策をまとめたアクションプランにより構成される。現在の計画の期間は、2019年度から2028年度までの10箇年。

▶**岩手県地域防災計画(2ページ)**…県土ならびに県民の生命、身体および財産を災害から保護するため、県防災会議が作成する計画。県、市町村などの各防災関係機関がそれぞれ全機能を有効に発揮し、相互協力して防災の万全を期するために必要な災害予防に関する事項などを策定するもの。

▶**持続可能な開発目標(3ページ)**…2015年9月の国連サミットで採択された国際目標。「すべてのひとに健康と福祉を」、「住み続けられるまちづくりを」などの17の目標に全世界が取り組むことによって「誰一人取り残さない」世界を実現しようとするもの。略称はSDGs(エスディーゼズ)。



1人目
 いわて県民クラブ
 ちば じゅん こ
千葉 絢子 議員
 盛岡選挙区



2人目
 社民党
 きむら ゆきひろ
木村 幸弘 議員
 花巻選挙区



3人目
 無所属
 うえはら やすき
上原 康樹 議員
 盛岡選挙区

商工建設 **新型コロナウイルスの感染予防と経済との相反する施策の両立**

問 新型コロナウイルスの感染予防の効果可視化し、正常な県民生活を回復するために、県民の命と財産を守る知事がリーダーシップを発揮するべきであると考える。

感染予防と経済活動との両立に向け、県民は具体的にどのように飲食店を応援し、観光産業を応援すればいいのか、知事としてどのように岩手県民を導いていくのか伺う。

答 岩手は全国でも低い水準の感染状況を維持し、GoToイートキャンペーンやいわて旅応援プロジェクトを中断することなく実施できており、特に宿泊施設の方々から、事業継続に役立っているとの声が届いている。これは、多くの県民が基本的な感染対策を実践してきたことによるもので、旅行や外食などを行うかどうかに関わらず、県民一人ひとりの感染対策が飲食店や宿泊施設の応援につながっていると考える。

引き続き、県民の皆様には常時マスクの着用、手洗い、検温といった基本的な感染対策の実践をお願いし、飲食店や宿泊施設の方々には支援金や補助金の活用による感染対策を徹底していただく中で、希望する方のワクチン接種を速やかに進め、いわて飲食店応援事業などの実施により、一日も早い経済回復を目指していきたい。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事が県民に伝えたい幸福
- 2 東日本大震災津波からの復興と次世代につなげるべき教訓
- 3 子どもの貧困対策における学校との連携
- 4 県職員の働き方改革

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



環境福祉 **県内の医療体制と医師の配置のあり方**

問 県立釜石病院における分娩の取り扱いを休止する方針が示された。

知事は、医師不在の地域を解消していく考えを述べているが、一方で、県立病院における医師の集約化などの政策を進めてきた。医師不在の地域の解消を本県の地域医療政策の基本的な姿勢だとするならば、この間の医療政策姿勢との関係において、改めて県全体の医療体制と医師の配置のあり方をどのように考えるか伺う。

答 本県では9つの二次医療圏を設定し、一般の医療需要および脳卒中など速やかに受療する必要がある疾病については、圏域内で完結できる体制整備を進めてきた。また、限られた医療資源を有効活用し、安定的かつ持続的な医療を提供するために、周産期医療においては、二次医療圏によらず、県内4つの医療圏を設定し、分娩リスクに応じた医療提供体制の構築を図ってきた。

深刻な医師不足・地域偏在の中にあって、高齢化の進展などによる将来の医療需要を見据えて、引き続き奨学金による医師養成や即戦力医師の招聘などによる医師の確保と、養成医師の適切な配置などを進め、県民が地域社会の中で安心して医療を受けることができる体制の確保に取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 憲法と県政運営
- 2 広域振興局体制
- 3 改正動物愛護管理法への対応
- 4 ドローンの活用

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



総務関係 **コロナ禍の先の道標**

問 新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、県は、世の中に漂う不安をどのように受け止めているのか伺う。

また、県民の幸福を守り育てていく観点で、コロナ禍の先の道標を県民にどのように示していくのか、私の4つの提言、コロナの収束後に向けて「街へ出よう」、「声を出そう」、「復活しよう」、「医療現場総点検」に対する受け止めと併せて決意を伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大により、本県でも人々の仕事や暮らし、学びの場に様々な影響が生じており、多くの県民が様々な不安を抱えている。一方、県民が力を合わせて感染症対策を行うことは、県民が抱えている不安を取り除くのみならず、地方創生やデジタル化の推進にもつながるものであり、県民一人ひとりが未来への希望を持てるよう、地方がより良くなっていく政策の流れを作りたいと考えている。

また、人の移動やイベントが再開されれば、観光産業におけるV字回復に向けた取り組みや、文化・スポーツの大型イベントなどによる地域振興にも思い切って取り組んでいきたいと考えており、提言の前向きな思いを大切にしつつ、今は新型コロナウイルス感染症対策に万全を期していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 地震への備え
- 2 県立高校の再編
- 3 水道事業の民営化と自治体運営
- 4 岩手と中国のこれから

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



▶御所野遺跡(3ページ) …一戸町にある縄文時代中期後半(4,000~4,500年前)の大規模な集落跡で、約500年間という長期にわたって、人々が定住した集落跡と考えられている。令和3年7月27日、御所野遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録が正式に決定した。

▶岩手県世界遺産保存活用推進協議会(3ページ) …世界遺産に係る平泉の文化遺産および岩手県内の縄文遺跡群の保存および活用を推進するため、県が設置するもの。国、県、関係市町などで組織される。

▶職域接種(4ページ) …ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため、企業や大学等において、職域(学校等を含む)単位でワクチンの接種を行うもの。

▶岩手県重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援推進会議(4ページ) …重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者を取り巻く環境を踏まえながら、課題の抽出とその解決を図るための方策などを検討し、もって重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者の福祉の増進を図るため、県が設置するもの。学識経験者や医師などの委員で組織される。

▶二次医療圏(5ページ) …地理的条件、日常生活の需要の充足状況、交通事情などを考慮し、一般の入院に係る医療を提供することが相当である単位として県が定めるもの。本県の二次医療圏は、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、気仙、釜石、宮古、久慈および二戸の9医療圏。

常任委員会の活動状況

県の仕事は教育や福祉、環境問題など、その領域は広く、また複雑化しています。

このため、県議会ではこれらの問題を効率よく専門的に審査し、限られた会期中で多くの議案や請願陳情を審議するため、5つの常任委員会を設けています。常任委員会では、付託された議案等を審査するほか、委員会単位で現地を訪問し、課題の調査等を行っています。

ここでは、6月定例会において各常任委員会で審査した議案および請願と、5月に行った現地調査をご紹介します。

○総務委員会（岩淵誠 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】
議案第2号 一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例及びみなで取り組む防災活動促進条例の一部を改正する条例
議案第4号 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金条例の一部を改正する条例 ほか8件

【請願】
受理番号第49号 新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願 ほか2件

現地調査

令和3年5月13日から14日まで、葛巻町、岩泉町、北上市および花巻市を訪問し、調査を行いました。

葛巻町では、くずまき見守り&スマートライフプラットフォーム推進事業について説明を受け、住民の費用負担の状況、事業の運用にあたる職員の体制などについて意見を交わしました。

岩泉町では、災害時の避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策について説明を受け、有事の際のマンパワーの確保などについて意見を交わしました。



葛巻町



岩泉町

○文教委員会（柳村一 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】
議案第11号 平泉世界遺産ガイダンスセンター条例
議案第16号 財産の取得に関し議決を求めることについて ほか2件

【請願】
受理番号第45号 計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願

現地調査

令和3年5月18日から19日まで、陸前高田市および宮古市を訪問し、調査を行いました。

岩手県立野外活動センターでは、移転復旧整備が完了した施設全般について説明を受け、施設設備の整備の状況や今後の運営方針などについて意見を交わしました。

岩手県立宮古水産高等学校では、海洋生産科等における教育活動について説明を受け、宮古商工高等学校と宮古水産高等学校との一体整備、学校の魅力向上に向けた取り組みの状況などについて意見を交わしました。



岩手県立野外活動センター



岩手県立宮古水産高等学校

○環境福祉委員会（神崎浩之 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】
議案第3号 母子福祉資金貸付金及び父子福祉資金貸付金の償還の免除に関する条例の一部を改正する条例
議案第15号 みたけの杜新築（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ほか2件

【請願】
受理番号第46号 県立釜石病院に医師確保を求める請願 ほか3件

現地調査

令和3年5月20日から21日まで、宮古市、久慈市および八幡平市を訪問し、調査を行いました。

久慈バイオマスエネルギー株式会社では、木質バイオマス熱供給事業について説明を受け、ランニングコストや今後の設備投資にかかる費用などについて意見を交わしました。

八幡平市立病院では、同病院の地域医療における役割について説明を受け、病床の稼働率や医師確保に向けた取り組みの状況などについて意見を交わしました。



久慈バイオマスエネルギー株式会社（久慈市）



八幡平市立病院

○商工建設委員会（ハクセル美穂子 委員長）

6月定例会で審査した議案および請願

【議案】
議案第5号 緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例
議案第12号 県道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 ほか3件

【請願】
受理番号第48号 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける酒造事業者への支援を求める請願

現地調査

令和3年5月18日から19日まで、盛岡市、田野畑村、久慈市および青森県八戸市を訪問し、調査を行いました。

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所では、三陸沿岸道路の概要と進捗状況について説明を受け、旧道との役割分担、今後の付帯設備の整備方針などについて意見を交わしました。

八戸港では、八戸港の現況と今後について関係者から説明を受け、コンテナ船の現在の航路と積み荷の傾向などについて意見を交わしました。



三陸沿岸道路



八戸港

○農林水産委員会（吉田敬子 委員長）

6月定例会で審査した議案

【議案】
議案第1号 令和3年度岩手県一般会計補正予算（第3号）（農林水産委員会付託分）

現地調査

令和3年5月13日から14日まで、奥州市、一関市および陸前高田市を訪問し、調査を行いました。

農事組合法人上小田代では、農業経営の現状について説明を受け、中山間直接支払制度、後継者の育成などについて意見を交わしました。

陸前高田市では、漁業就業者育成の取り組みについて説明を受け、新規漁業就業者数の推移などについて意見を交わしました。



農事組合法人上小田代（奥州市）



マルテン水産（陸前高田市）

特別委員会の活動状況

特別委員会は、特に必要と認める事項の審査や調査のために、本会議の議決で設置される臨時的な委員会です。

県議会では令和元年9月定例会において、東日本大震災津波復興特別委員会のほか下記の4つの特別委員会を設置しました。

委員会では、調査事項に関する学識経験者や専門家を参考人として招致し、それぞれの取り組みについて説明を受け、質疑・意見交換により議論を深めています。現地調査では、県内の先進的な取り組みなどを調査しました。これらの調査結果を9月定例会において各委員長から報告し、今後の施策の推進に当たり配慮するよう、県に対して要望する予定です。

ここでは、直近の4月に開催した委員会および6月に行った現地調査をご紹介します。

〇人口減少対策調査特別委員会（臼澤勉 委員長）

〈調査事項：人口社会減対策や少子化対策と子育て支援などに関する調査〉

委員会の開催

◎(令和3年4月)

アクセンチュア株式会社アクセンチュア・イノベーションセンター福島センター共同統括マネジング・ディレクターの中村彰二郎氏をお招きし、地方創生を実現する上でのスマートシティの取り組みについて調査を行いました。

現地調査

◎(令和3年6月)

[調査先]一般社団法人日本結婚支援協会(盛岡市)
[調査事項]本県の結婚支援の現状について

[調査先]八幡平市起業家支援センター(八幡平市)
[調査事項]起業志民プロジェクトについて

[調査先]岩手県保育士・保育所支援センター(盛岡市)
[調査事項]保育人材の確保に向けた取り組みについて



八幡平市起業家支援センター



保育士・保育所支援センター

〇環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会（田村勝則 委員長）

〈調査事項：環境問題や地球温暖化対策などに関する調査〉

委員会の開催

◎(令和3年4月)

紫波町産業部産業政策監農村政策フェローの小川勝弘氏をお招きし、鉄理論とサンライズ花海道による三陸復興について調査を行いました。

現地調査

◎(令和3年6月)

[調査先]築川ダム(盛岡市)
[調査事項]築川ダムおよび築川発電所視察

[調査先]くずまき交流館プラトー(葛巻町)
[調査事項]葛巻町の新エネルギー施策等について

[調査先]くずまき高原牧場、グリーンパワーくずまき風力発電所(葛巻町)
[調査事項]木質バイオマスガス化発電設備・畜ふんバイオマスプラント・グリーンパワーくずまき風力発電所視察



築川発電所



グリーンパワーくずまき風力発電所

〇地域医療確保対策調査特別委員会（佐藤ケイ子 委員長）

〈調査事項：地域医療体制の整備と医師等の確保や健康寿命などに関する調査〉

委員会の開催

◎(令和3年4月)

和賀町立西和賀さわうち病院総括院長の北村道彦氏をお招きし、本県における医師確保の現状と課題について調査を行いました。

現地調査

◎(令和3年6月)

[調査先]岩手県立大船渡病院(大船渡市)
[調査事項]岩手県立大船渡病院の現状と今後の展望
周産期医療体制も含めて

[調査先]岩手県立高田病院(陸前高田市)
[調査事項]地域インフラとしての岩手県立高田病院の活動について



大船渡病院



高田病院

〇産業振興・雇用対策調査特別委員会（千葉絢子 委員長）

〈調査事項：新技術等の利活用や雇用対策などに関する調査〉

委員会の開催

◎(令和3年4月)

やまがたAI部運営コンソーシアム会長の松本晋一氏および山形大学エンrollment・マネジメント部教授の佐藤俊一氏をお招きし、デジタル人材の育成を通じて山形県のGDP向上を狙う取り組みについて調査を行いました。

現地調査

◎(令和3年6月)

[調査先]グランドセイコー スタジオ栗石(栗石町)
[調査事項]高付加価値のものづくりの技術について

[調査先]セルスペクト株式会社(盛岡市)
[調査事項]最先端のヘルステック技術について



グランドセイコースタジオ栗石



セルスペクト株式会社

議場見学の案内

岩手県議会では、開かれた議会を目指し、議場の見学を受け付けています。

議場見学では、議会事務局職員が、議会運営の概要や議場内の施設を説明します。

学校の社会見学、町内会の生涯学習行事など、お気軽にお越しください。

※本会議開催日など見学できない日がありますので、事前にお問い合わせください。

議場見学の流れ

(約 20 分。内容、時間は調整可能ですのでお問い合わせください。)

- ①本会議場で議会に関する説明と質疑応答
- ②特別委員会室の見学
- ③記念撮影 (希望される方) ※カメラはご持参ください。



お問い合わせ・岩手県議会事務局 総務課 電話：019-629-6006 (直通)
お申し込み先/ 電子メール：gikai@pref.iwate.jp

風邪のような症状がある方や、息苦しさ、強いだるさ、高熱等のある方は、見学をご遠慮願います。
また、見学の際には、マスクを着用くださるようお願いいたします。

若者向け傍聴案内ポスターデザイン
コンテスト入賞作品の中から、
6月定例会のポスターを作成しました。



岩手県立不来方高等学校
ふじわら
藤原 あい さん

県議会について若い方にも関心を持ってもらうために、画面の右に学生を描き、実際に背景に描かれている県議会の発見するという意図で、遊び心のあるイラストにしました。このポスターを見て、県議会に興味を持つきっかけになってほしいと思います。今回はこのような賞を受賞させていただき、本当にありがとうございました。

県議会からの お知らせ



● 本会議のYouTube配信

令和3年6月定例会から、一般質問等の様子をYouTubeで動画配信しています。岩手県議会公式動画チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル

検索



● テレビ広報 県議会ダイジェスト番組 「きょうの県議会」

一般質問が行われた日に、質問の様子を 3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビは18時50分台、岩手朝日テレビは18時40分台に放送します(放送時間は変更になる場合があります)。

● インターネット中継

県議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っていますので、ぜひご覧ください。

● 請願の提出について

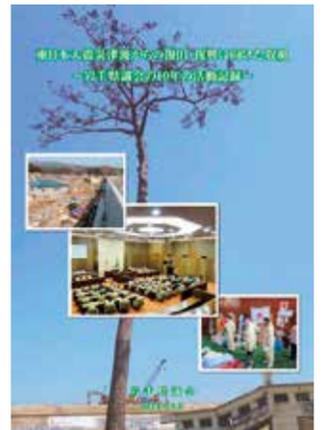
請願の提出には、県議会議員の紹介(署名)が必要です。請願を提出する方は、審査を希望する定例会の招集日までに会派など(議員)に対して十分に説明を行い、議員の紹介を受けた上で、請願審査が行われる常任委員会開催予定日の3日前の正午までに県議会事務局に提出してください。

なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せて県議会ホームページでお知らせします。

● 「東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた取組 ～岩手県議会の10年の活動記録～」を発行

災害対策特別委員会および東日本大震災津波復興特別委員会の活動など、東日本大震災津波の発災から10年間における復旧・復興に向けた岩手県議会としての取り組みの記録を冊子に取りまとめました。

県議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



● 一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページでお知らせしています。

県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック！

● 県議会ホームページをリニューアル

県議会ホームページについて、音声読み上げや文字サイズ・配色の変更など、どなたにも利用しやすい環境としたほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」を新たにYouTubeに公開するなどのリニューアルを行いました。ぜひご覧ください。



©わんこきょうだい

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デイジー版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。



ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続きなどをご覧ください。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

■編集・発行・問い合わせ先

岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022
FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp



岩手県庁の隣です